



城南家保ニュースR6. 10月号

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL : 0966-22-3814

E-mail : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

野鳥における高病原性鳥インフルエンザ 疑い事例について

北海道乙部町で令和6年9月30日（月）に回収された死亡野鳥（ハヤブサ）1羽から、10月1日（火）A型鳥インフルエンザウイルスが簡易検査陽性、10月4日H5亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスが遺伝子検査で確認されています。最終判定はまだですが、今シーズン1例目の高病原性鳥インフルエンザ感染が疑われる事例となります。

昨シーズンの1例目も北海道で令和5年10月4日に発見された死亡野鳥から確認されており、今シーズンも昨シーズンと同様に野鳥で流行することが推測されます。

家さん飼養者の皆様におかれましては、これまで防疫対策の徹底に努めていただいているところですが、農場及び家さん舎への侵入防止対策に十二分な備えを今一度確認するとともに、飼養家さんの異常に対し早期発見・通報の徹底もよろしくお願ひします。また、関係者の皆様におかれましては、農場内へのウイルス持ち込み対策及び衛生対策の指導にご協力いただきますようお願いいたします。

アルボウイルスの流行について

熊本県では、吸血昆虫が媒介して感染するアルボウイルスによる牛の異常産発生を予察するために、初めて夏を迎える若い牛を継続的に採血し、これらウイルスの流行の調査（サーベイランス）を毎年実施しています。

調査の中で、本年度は一部の地域でイバラキ病ウイルス（流行性出血病ウイルス血清型2（EHDV2））、もしくはその近縁のEHDV6の感染を疑う事例が確認されています（詳細については現在検査中）。今後の流行状況によっては、イバラキ病様の嚥下障害、死流産、来年には体型異常を伴う異常産が発生する可能性があります。

そのような症状が認められた際には、かかりつけの獣医師にご相談いただくか、家畜保健衛生所までご連絡ください。



令和6年度人吉球磨地域動物フェスタ が開催されました

動物愛護週間（9月20～26日）に合わせて、9月23日に人吉球磨獣医師会の主催で動物フェスタ2024が5年ぶりに五木村の「五木源パーク」で開催され、城南家保も後援として参加しました。

慰霊祭を行った後、長寿犬と長寿猫の表彰、病気のパネル展示、獣医師の体験コーナー、保護された犬猫の譲渡会、スポーツドックショー、ヤギの餌やり体験、南稜高校馬術部による無料の乗馬体験等のイベントでとても盛り上がり、1,000人近い来場者においていただきました。

動物愛護週間の目的は、広く動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めていただくことです。今回の犬の譲渡会でも、会場で紹介していた子犬5匹全てに新しい飼い主が見つかり、大切に引き取られていきました。新しい場所で幸せに過ごしていると思います。



キッズ獣医師体験コーナー



乗馬体験

なお、市町村や関係団体等の方々にも多大なご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	台湾	家さん	令和6年8月31日
口蹄疫	不明	中国	牛	令和6年9月26日

令和6年(2024年)10月1日現在

家畜防疫員のヒトコト

例年以上に暑い9月がやっと終わり、10月になってやっと暑さが和らいだようです。私は人吉で冬を過ごすのは初めてですが、私も管内の家畜も大きな病気にならないよう気を付けたいと思います。（T・N）